

評価段階	4：期待以上	3：ほぼ期待どおり	2：やや期待を下回る	1：改善を要する
------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	基礎的な学力と学びに向かう力を備えた児童の育成 ～Challenge (チャレンジ)・Connect (コネクト)・Change (チェンジ)の「3C」を意識した「教育活動の充実」～
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価	関係者評価	主な結果の考察・分析 (○) 改善策 (※)、関係者コメント (◇)
知 育	○ 学力の向上 「夢に向かって自分の考えをもち、進んで学ぶ児童の育成」「学びたい度」80%超え、「全国学テ」「みや学テ」県平均超え、単元テスト平均85点超え 1 授業の充実と改善 2 学力調査等の活用 3 学習規律（授業中・家庭学習）の徹底 4 読書・読み聞かせの推進 5 個に応じた学習支援の工夫 6 キャリア教育の充実	1 授業の充実と改善 ○ 研究授業1人1回以上実施	○ 3校共通の指導案に即して授業を実践し、工夫改善を図る。	3.1	3.0	○ 振り返りや習熟の時間を確保する意識は高まりつつあるが、計画通りにいかないこともあった。 ○ 引き続き振り返りや習熟の時間の確保に意識をもてるよう全職員で再確認していきたい。 ○ 年度後半は、タブレットの不具合が多く、効果的な活用ができなかった。来年度において整備していきたい。 ○ CRTテストでは、事前にアシストシートに取り組んだ学年もあった。 ○ 前年度の落ち込みを把握しきれいいなかった。 ※ 各種テストによって、今年度中に活かせるものや次年度に活かせるものの活用を促していく。 ○ 年間3回、「学びのチェック週間」を設け、子どもたちの意識を高めることができた。 ※ 正しい鉛筆の持ち方の定着は難しい。引き続き根気強く指導していく必要がある。 ○ 2月中旬の時点で、年間図書貸出1人100冊以上を達成した。 ○ 学習支援ボランティアを活用した学年もあったが、なかなか活用できないことがあった。活用したいという気持ちはあるが、タイミングが合わずに、準備が間に合わないことも多く活用の仕方が難しい。 ※ キャリア・パスポートは、運動会などの大きな行事で学期に1回は活用できるようにしたい。 ※ 小林キャリア教育支援センターの存在を知らない先生方がいたので、外部機関との連携がどのようなものがあるか、全職員で共通理解する必要がある。 ◇ タブレットを活用した授業を行う積極性を評価します。一方自分で書く能力も大切に育てて頂きたい。 ◇ タブレットの不具合が多いという意見があったところが気になりました。早急に環境整備を行ってスムーズに利用できるようにすることを期待したいです。 ※ タブレットPC端末が新規更新されたため、充電がすぐに切れてしまう問題は1月下旬に改善されている。 ◇ 学力向上については、児童個々に対応することが求められ、全体の底上げは大変だとお察しします。課題の1つとし、充実が必要と考えます。
			○ 「伝え合い・学び合い」の場を設け、表現力を高める授業を実践する。	3.1		
			○ 振り返りや習熟の時間を充実させ、基礎学力の定着を図る。	2.9		
			○ タブレットPCの効果的な活用を図る。	3.0		
		2 学力調査等の活用 ○ 「全国学テ」「みや学テ」「CRTテスト」県平均以上 単元テスト平均85点以上	○ 前年度の「全国学テ」「みや学テ」「CRTテスト」の分析結果を生かした授業を実践する。	2.8		
		3 学習規律（授業中・家庭学習）の徹底 ○ 正しい鉛筆の持ち方100% ○ 立腰90%以上	○ 「学びのチェック週間」の指導と、正しい鉛筆の持ち方、立腰に関する個別指導を徹底する。	3.0		
		4 読書・読み聞かせの推進 ○ 年間図書貸出1人平均100冊以上	○ 図書館教育協力員や図書委員会の活動との連携を図りながら、読書を推進する。	3.3		
		○ 読み聞かせ年間15日実施	○ 読み聞かせボランティア「たんぽぽ」との連携を図る。	3.4		
		6 個に応じた学習支援	○ 学習支援ボランティアの活用を図る。	3.0		
		6 キャリア教育の充実	○ 「キャリア・パスポート」の積極的な活用を図る。 ○ 小林キャリア教育支援センターなど外部機関との連携、各学年でのキャリア教育の充実を図る。	2.9 3.2		

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価	関係者評価	主な結果の考察・分析 (○) 改善策 (※)、関係者コメント (◇)	
徳 育	<p>○ 豊かな心の育成 「思いやりの心をもち、よりよく生きることのできる児童の育成」 「学びたい度」学校への満足度 (学校が楽しいと思う児童) 100%</p> <p>1 「凡事徹底のじりっこ」 「むごんの場」等による望ましい生活習慣の定着</p> <p>2 定期的なアンケートや教育相談の充実</p> <p>3 いじめ未然防止のための徹底指導や不登校への組織的対応</p> <p>4 実態に即した道徳の時間の指導改善と人権教育、特別支援教育の推進</p> <p>5 自分で考えて実行するボランティア活動等の推進と豊かな体験活動の充実</p>	1 「凡事徹底のじりっこ」を踏まえた指導の徹底	○ 挨拶、会釈、返事等 ・ 各学年で挨拶の上手な子を称賛し、手本とする。	2.8	3.0	<p>○ 挨拶、会釈、返事等については、6月に実施したあいさつ名人のような取組で、模範になる児童を称賛することを繰り返していく。</p> <p>○ チャイム黙想はよくできているが、その他の活動での時間厳守はもう少しである。</p> <p>○ 並べようという意識の高い児童がいるので、高学年が利用するトイレのスリッパは並んでいることが多い。</p> <p>○ 下学年が利用するトイレでは、たまに並んでいないことがあった。</p> <p>○ 昼休みや下校時の廊下歩行できまりを守ることができないことがある。今後も声かけを行う。</p> <p>※ 廊下や階段を歩く時に、教職員全員で、すれ違う子どもたちに声かけに取り組む。</p> <p>○ 給食配膳時の無言について、指導が徹底できなかった。</p> <p>○ 廊下での話しながら移動することがどうしても止めることができない児童がいたので、繰り返し指導したが、まだ話しながら移動している時がある。</p> <p>※ 集会など、全校児童がそろっている場において、高学年が模範になり、意識を高めるように指導する。</p> <p>○ 「あのねアンケート」では、担任を中心とした教職員の指導の成果もあり、不登校児童はいない。今後もアンケートを毎月実施し、児童の不安や不安定な気持ちと向き合う。</p> <p>○ 上学年は、ボランティア活動や委員会活動に意欲的に取り組む児童が多い。</p> <p>○ 学年を縦割りした清掃班を編成し、清掃活動に取り組んでいるので、上学年から下学年への清掃の仕方について教える姿が見られた。</p> <p>○ 東麓宮農組合や棒踊り保存会、地域の店舗など多くの方が好意的に協力していただき、見学や農業体験等の体験活動が充実した。</p> <p>◇ いじめや不登校がないよう今後もアンケート等の取組を継続していただきたい。</p> <p>◇ 登下校時に子どもたちとすれ違うと気持ちの良い挨拶をしてくれます。凡事徹底を今後ともよろしく願います。</p> <p>◇ 凡事徹底は20年以上前から続く、とても良い取組だと思えます。年度の具体的な取組は、項目を絞ってみてはいかがでしょうか。</p>	
			○ 時間厳守・1分前着席、チャイム黙想	3.2			
			○ はき物揃え ・ トイレのスリッパも声掛けをする。	2.7			
			○ 廊下歩行 ・ 昼休みに入る前の声掛けを全員で行う。	2.7			
			○ 「無言の場」を意識し、時と場に合わせて、自分で静かにできるよう指導する。	2.3			
		2 定期的なアンケートや教育相談の充実	○ 「あのねアンケート」の結果を活かした指導や教育相談を充実させる。	3.3			
		3 いじめ未然防止のための徹底指導や不登校への組織的対応	○ 月1回のアンケート調査	○ 実態把握に努め、児童及び保護者に対して、迅速、誠実かつ適切に対応する。			3.3
			○ 年2回の教育相談				
		3 いじめ未然防止のための徹底指導や不登校への組織的対応	○ いじめ認知解消率100% ○ 不登校率0% ○ 月1回のにこにこ委員会	○ 「にこにこ委員会」等で実態の共通理解や対策の協議等を行い、組織的に対応する。			3.6
				4 実態に即した道徳の時間の指導改善と人権教育、特別支援教育の推進			○ 道徳及び人権に関する常時指導を徹底し授業を充実させる。
		5 朝のボランティアの声掛けと称賛	○ 年4回の清掃指導週間における指導の徹底	○ 「西諸人権を考える日」等に合わせ、関連の授業を実施する。			3.1
				○ ボランティア活動や委員会活動等での自主的・自発的な活動を推進する。			3.2
				○ 時間いっぱい、一生懸命、無言での清掃を徹底させる。			3.1
				○ 農作業体験や社会科見学その他、体験活動を充実させる。			3.6

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価	関係者評価	主な結果の考察・分析 (○) 改善策 (※)、関係者コメント (◇)
体 育	<p>○ 「自分の健康や体力に関心を持ち、将来にわたり心と体を鍛え続ける児童の育成」</p> <p>1 スクールスポーツプランに基づく体育指導の工夫・改善</p> <p>2 新体力テストの分析と課題や改善への取組の強化</p> <p>3 運動遊びや多様な運動種目への関心を高める体育的活動の推進</p> <p>4 家庭と連携した健康教育の推進</p>	○ 体育指導の工夫・改善	○ 「スクールスポーツプラン」を活用し、新体力テストの結果を生かした日常的な運動の取組を強化する。		3.0	<p>○ 体育振興指導教員派遣事業を活用し、体育での指導の難しさを感じている運動や体づくりで活用できる動きの紹介をしてもらった。</p> <p>○ 本年度、スクールスポーツプランは作成していないため、活用できていないが、体育振興指導教員派遣事業を活用して、本校の課題である長座体前屈について効果的な運動を紹介してもらった。</p> <p>○ 各学年の体育での指導事項を徹底することに加えて、全校体育では統一した動きに関する指導を実践した。</p> <p>○ 体力テストでは、昨年度の結果を踏まえて本年度の目標を設定することで、自分の成長を実感できるようにした。</p> <p>○ みんなで遊ぶ日を設定したり、休憩時間に教員が児童とともに遊んだりすることで、多くの児童が外で体を動かす姿がみられた。</p> <p>○ 昨年度までは順位を競う持久走大会を実施してきたが、本年度は時間走に変更した。自分の能力を高めるために意欲的に持久走練習に取り組むようになり、大会当日は自己記録を達成する児童が多く見られた。</p> <p>○ 朝食の欠食、睡眠時間、メディア利用時間の3項目に絞って評価し、気になる児童の資料を作成した。職員間で情報を共有し、指導に活用することができた。</p> <p>○ 「メディアコントロール」をテーマに、6月に講話を実施した。視力、睡眠、学習習慣等、生活リズム全てに影響があるため保護者や児童の反響も大きかった。</p> <p>※ 次年度はメディアコントロールや正しい生活習慣の成功事例を募集し、通信等で紹介し、家庭での実践を高めたい。</p> <p>○ フッ化物洗口では、安全対策を強化し計画的に実施することができた。</p> <p>◇ 体力向上については、日常的に取り組む必要があります。今後とも体力テストを常に意識して取り組んで頂きたい。</p>
			○ 運動量の確保と運動技能の向上を目指して、体育科の授業を工夫する。	3.8		
			○ 小中一貫で取り組んでいる集団行動の基本様式の指導を徹底する。	3.2		
		○ 新体力テストにおける県平均超え項目70%以上	○ 新体力テストの結果を踏まえた「スクールスポーツプラン」を作成して活用する。			
			○ 6年間持ち上りの「体育ファイル」を活用して、個に応じた体力の向上を図る。	3.0		
		○ 体育的活動の推進	○ 昼休みの運動遊びを推奨する。	3.6		
			○ 縄跳びや持久走運動の運動強化旬間の設定や委員会等によるドッジボール大会の企画を通して、多様な運動に親しませる手立てをとる。	3.6		
		○ むし歯治療率100%・生活リズムの改善と治療率の向上	○ 「生活リズム週間」等を活用し、家庭への働きかけや啓発を積極的に行う。	3.4		
			○ 学校保健委員会等を活用し、生活習慣の改善や意識の高揚を図る。	3.6		
			○ PTA保体部と児童の保健・給食委員会による啓発を行う。	3.1		
			○ 計画的なフッ化物洗口を安心・安全に行う。	3.6		

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価	関係者評価	主な結果の考察・分析 (○) 改善策 (※)、関係者コメント (◇)
食 育	○ 「望ましい食習慣を身に付け、将来にわたり、健康な生活を送る児童の育成」 1 小中一貫した食育の推進 2 家庭と連携した「弁当の日」の取組の充実 3 望ましい食習慣の育成と健康に係る個別指導の充実 4 食物アレルギーへの対応と安心・安全な給食の提供 5 食に対する感謝の心の育成	○ 小中共通の給食だよりの発行 (月1回)	○ 「食の贈り物」や「食育絵日記」の取組を推進する。	3.7	3.4	○ 食の贈り物 (提出率94.3%) に取り組むことができた。児童作品の中から選出した作品を「みやぎ弁当の日」写真展に応募し、県で優秀賞を受賞する児童もいた。 ○ 給食一ロメモの放送原稿の提供や通信の発行、食に関するT.T授業 (6年生で実施) に取り組むことができた。 ○ 「弁当の日」の取組では、保護者の意見を取り入れて、長期休業中に取り組むことにしたことで、家族でゆとりをもって取り組むことができた。 ○ 残食についてはほぼ0の状態である。偏食傾向や少食の児童はいるが、各学年とも個に応じた指導が継続されている。 ○ 全校児童を対象にして、市保健センターと連携して食育個別相談を実施 (4年目) している。保護者の栄養相談の拠り所となっている。 ○ 6月の全校集会で、グループ給食の方法について (マナー指導を含む) 指導する時間を設定することができた。 ○ こすもす科の食育の授業を家庭科の調理実習に活用することができた。 ○ グループ給食を実施するため、栄養教諭が各学級で「会話を楽しみながら食べる会食のあり方」を指導した。 ○ 食物アレルギー研修を計画的に実施することができた。 ○ 年度当初に、食物アレルギーを有する児童について共通理解を図ったので安全に対応ができた。 ○ 食物アレルギーの面談やアンケートを行い、修学旅行業者や宿泊施設との打合せを行うことで、事故防止に努めた。 ○ 給食感謝週間がより充実するように、学校・家庭において連携を図った。 ○ 東麓営農組合や地域の店舗など多くの方々から好意的に協力していただき、見学や農業体験等の体験活動が充実した。 ○ 食育推進指定校として食育推進に関する教育活動 (味覚の授業、野菜ソムリエの出前授業、みそ汁づくり体験、講演会等) に取り組んだことで、児童も家庭も食へ意識を高めることができた。 ◇ 残食0は素晴らしい。食育は生きるための基本です。楽しく取り組めるように今後も指導してください。 ◇ 営農組合の方たちとの活動について、食育という観点からの取組に関連させることはできないでしょうか。
			○ 学校給食を「生きた教材」として活用したり、栄養教諭と連携したりして、食に関する指導を推進する。	3.7		
		○ 「弁当の日」年2回以上実施	○ 家庭と連携して、発達段階に応じた「弁当の日 (食の贈り物、食育絵日記)」の取組を行う。	3.7		
		○ 残食0 (ゼロ) ○ 肥満度 (中等度%以上) 児童の減少	○ 給食時間の偏食や少食等の児童に対する助言や指導、対応等を工夫する。	3.6		
			○ 健康診断の結果を用いて、栄養状態を把握し、肥満傾向や痩身傾向等の児童を対象に個別的な相談指導を行う。	3.5		
		○ 給食の時間に箸や食器の持ち方、会話の内容等のマナー指導を行い、家庭への働きかけや啓発を積極的に行う。	○ 給食の時間に箸や食器の持ち方、会話の内容等のマナー指導を行い、家庭への働きかけや啓発を積極的に行う。	3.5		
			○ 調理体験活動を充実させる。 ・ 「弁当の日」、家庭科、こすもす科等	3.8		
		○ 給食の時間の感染症対策を通して、衛生に関する行動・習慣を身に付けさせる。	3.4			
		○ 食物アレルギー研修 (年1回)	○ 全職員参加による研修を実施する。	3.6		
		○ 食物アレルギー児童の面談の実施 (年1回) ○ ヒヤリハットの発生件数0 (ゼロ)	○ 食物アレルギーを有する児童について共通理解し、給食配膳時の対応について、複数の職員で確実に行う。 ○ 宿泊を伴う学習時において、食物アレルギーを有する児童に対する対応を確実に行う。	3.7 3.6		
○ 食に関する感謝の心を育む取組の実施	○ 1月に「給食感謝週間」を実施し、食への関心を高め、感謝の気持ちを育てる。	4.0				

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己評価	関係者評価	主な結果の考察・分析 (○) 改善策 (※)、関係者コメント (◇)
その他	○ 服務規律の徹底及び働き方改革の推進 1 服務規律の徹底 2 働き方改革の取組の推進	1 法令及び倫理等に反する違反ゼロの維持	○ 計画的に服務研修を行い、法令遵守の意識改革を行う。 ○ 具体的な事例を取り上げて、互いに注意喚起を行う。 ○ 毎月、コンプライアンスチェックシートを活用して、自己評価及び必要な改善を行う。	3.2	3.3	○ 本校独自のコンプライアンス遵守事項「個人情報流出防止」を定め、私用カメラ、私用USBメモリの利用禁止の徹底を行い、個人情報流出を防止することができた。 ○ コンプライアンスチェックを毎月実施し、職員の意識向上を図ることができた。 ○ 風通しのよい職場環境づくりを通して、今後も法令及び倫理等に反する違反ゼロを維持していきたい。 ○ 昨年度よりも更に職員の時間外勤務を削減することができている。次年度以降も「時差勤務」等の活用を図り、働き方改革を推進していきたい。 ○ 12月末までの時間外勤務の月平均時間は19.5時間（昨年度21.4時間）であり、本校における働き方改革が更に進んでいると考えられる。 ◇ 時間外勤務時間の減少に取り組むために、時差出勤等の活用はよいと思います。ただ、時間外勤務時間を減らすことだけが目標とならないよう、時間外勤務発生の原因について、構造的な改善への取組をお願いします。 ◇ 先生方の背中を見て子ども達は成長して行きます。いきいきとした職場環境で児童を見守り、育てて下さい。
		2 月平均時間外勤務全職員 45時間未満	○ 「野尻小学校働き方改革プラン」の推進 ・ リフレッシュデーやワンアクションを設けて取り組む。 ○ 時差勤務を有効活用し、できるだけ早い時刻での退庁を心掛ける。 ○ 学習支援ボランティアを意図的・積極的に活用する。	3.2		

次年度の方向性についての校長所見	<p>○ どの分掌部も学校経営ビジョンを具現化するために、いろいろな手立てを工夫して取り組んでおり、総合評価が3.0を上回ることができた。特に、体育と食育においては、運動に意欲的に取り組むための工夫・改善や食への感謝、体験活動を軸にして、家庭・地域との連携を図った取組を積極的に推進することができた。</p> <p>○ 知育においては、各種学力調査や各学年の学習単元テストの結果から、概ね良好な結果を得られているが、どの学年においても学力の二極化が進んでいる。個に応じた手立てや支援、ICT活用による支援や学習内容の定着等、次年度に向けて、まだまだ授業改善や家庭学習の改善を図っていく必要がある。また、学力の二極化や個に応じた支援への対応を図るために、授業における学習ボランティアの活用をより推進していく必要がある。</p> <p>○ 徳育においては、「あいさつ・返事・会釈」の励行を重点に、「凡事徹底」を更に強化しながら、児童・教職員が楽しいと思える落ち着いた学校生活ができるよう全校で継続して取り組んでいく。</p> <p>○ 体育においては、体育の授業や各行事、全校での運動への取組を通して、児童の運動技能や体力の向上を図っている。今年度は体育振興指導教員派遣事業を活用して、職員の体育指導力向上に取り組んだ。今後も年間を通して体力向上を図る取組や本校の児童が苦手とする領域の運動について、工夫と改善を重ねる必要がある。また、気温が高くなる時期は屋外での活動が制限されるため、運動や体力向上の在り方についても新たな視点で検討を図っていく必要がある。</p> <p>○ 食育においては、本年度、県から「食育推進事業」の食育推進校に指定され、食育推進体制を整備するとともに、食に関する指導について教科横断的な学習や食育に関する様々な体験活動や講演会を開催することができた。</p> <p>○ 次年度は、「あいさつ・返事・会釈と凡事徹底」、「読書活動の充実」、「目の健康と規則正しい生活リズム」、「食への感謝」の4つのテーマを重点に、本年度の取組を更に充実させ、魅力ある特色ある教育活動を展開していきたい。</p>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------